

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 会津若松市立城北小学校 】

| | |
|--------------------|--|
| 1 実践テーマ | ①・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ（複数選択可） パラリンピアン講演を中心とした道徳授業の展開 |
| 2 実施対象者 (学年・人数) | 全校児童 372名 |
| 3 展開の形式 | (1) 学校における活動 ① 教科名（「特別の教科 道徳」） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ） |
| 4 目標 (ねらい) | 「平和でより良い世界の構築に貢献する」とのオリンピック・パラリンピック競技大会の目標と学校教育目標を共に実現すべく、パラリンピックのトップアスリートによる講話や道徳科授業の実践をとおして、夢の実現に向けてがんばることの大切さを実感するとともに、大会の意義について理解を深める。 |
| 5 取組内容 | ○ 「個性の伸長」に関する道徳科授業 ・低学年「自分の特徴に気づくこと」 ・中学年「自分の特徴に気づき、長所を伸ばすこと」 ・高学年「自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと」 ○ 「感謝」「よりよく生きる喜び」に関する道徳科授業 ・低学年「家族など日頃世話になっている人々に感謝すること」 ・中学年「家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた人々に尊敬と感謝の気持ちをもって接すること」 ・高学年「よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じること」 ○ パラリンピアンによる講演会（4～6年道徳科） 講師：増子恵美氏（福島県障害者スポーツ協会所属） 丸山内雄大氏（福島県障害者スポーツ協会所属） 演題：「パラリンピアンから学ぶ 目標を達成するために大切なこと」 |

内容：講話

車いすバスケットボール実技デモンストレーション



- 「希望と勇気、努力と強い意志」に関する道徳科授業
 - ・低学年「自分のやるべき勉強や仕事をしっかり行うこと」
 - ・中学年「自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと」
 - ・高学年「より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと」

6 主な成果

12月2日に実施した講演を機会に、パラリンピックや障がい者スポーツについて意識の変容が見られた。講演後全員で振り返り、全校集会で児童代表が発表した感想には「失ったものを数えるな、残されたものを最大限生かせ」というパラリンピックの精神的な言葉に感銘を受けた児童が多数見られた。また、パラリンピックの種目が多数あることを改めて知り、自分の可能性を信じて挑戦し続けているパラリンピアンに励まされていた。

本研究をとおして、目標を達成するためには困難な状況でもあきらめずに挑戦し続けることが大切だという心情を育むことができた。

7 実践において工夫した点(事業の特色)

- パラリンピアン講演を核として全学年で道徳授業を行ったことにより、夢の実現に向けてがんばることの大切さを実感するとともに、大会の意義について理解を深めることができた。
- 講演会では、総合的な学習の時間にパラリンピックスポーツについて追究活動を行った4年生を中心に質疑を行い、学習の深まりが見られるようにした。
- 講演会の進行一切を5年生が行うことにより、児童が自分たちで創りあげる会という意識をもたせられるようにした。

8 主な課題等

- パラリンピアン講演を感染症予防の観点から上学年のみの参加としたが、全校生で話を伺ったり体験したりできるように方法を検討する必要がある。
- オリンピックやパラリンピックについて、大会の意義をさらに伝える工夫が必要である。

| | |
|--------------------------|---|
| <p>9 来年度以降 の実施予定</p> | <p>来年度以降, 以下の3点について道徳科の授業を中心に継続して教育活動を展開していく。</p> <p>(1) 主体的思考</p> <p>パラリンピアンを考えや生き方振り返ることで向上心を持ち, 夢や目標を定め, これから自分の人生をよりよくしていこうとする姿勢を育てられるようにする。</p> <p>(2) 共感的感情</p> <p>オリンピック・パラリンピックの意義を学び, 国際平和や他者理解, 他者との協力・共存について話し合ったり書いたりして考えを深められるようにする。</p> <p>(3) 創造的行動</p> <p>目標を成長のステージごとに設定し, それに向かって努力することで, ステージごとに達成感や自己肯定感をもたせられるようにしていく。</p> |
|--------------------------|---|